

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3 月 31 日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス いんくるーじよん

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ 改善内容又は改善見直し
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		10人定員の基準を満たしております。
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%		配置基準を満たしています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%		玄関内の段差をスロープで解消しています。洗面所とトイレ内に手すり設置、事業所内段差はありません。
	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	100%	0%		毎日朝礼・終礼、週1回の個別カンファレンス、月1回の職員会議を全職員で行っています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		全利用者の保護者様にアンケート調査を実施致し、様々なご意見を頂いておりますので、業務改善につなげています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		弊社ホームページ等で公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		第三者による外部評価は特に行っておりませんが、今後は取り組んで業務改善に役立てたいです。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		職員のスキルと支援の向上のためにオンライン外部研修参加毎に内部研修を行っています。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		アセスメント並びにモニタリングを定期的を実施してから計画を作成しております。
	10 子どもへの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		標準化されたツールを使用しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		活動プログラム立案は職員全員で行っています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		月間予定を立てて目的に沿って毎日異なる内容を提供して取り組んでいます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定し支援している	100%	0%		平日は個別・集団活動、休日は目的を伴う集団活動、長期休暇は季節に応じた集団活動を細かく計画して実施しています。
	14 子どもへの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		お子様の特性を考慮して個別・集団活動を組み合わせ計画を作成しています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		毎日朝礼時に支援内容および担当などの役割の確認を行っています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%		職員全員で終礼を毎日行い、支援の振り返り・気づきなどを通知している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		毎日のサービス提供記録をとり、支援の振り返りや改善につなげている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		定期的にモニタリングを行い、見直しが必要な場合は見直しを行っている。
	19 ガイドライン役割の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%		ガイドライン役割の基本活動を複数組み合わせた支援で、個別活動、集団活動を行っている。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	100%	0%		管理者または職員が出席しています。
	21 学校との情報共有(年間計画、行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%		保護者を通して行っています。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%		保護者を通して行っています。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%		保護者を通して行っています。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%		保護者を通して行っています。
	25 児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		関係専門機関と連携し、オンライン研修に出席しています。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%	0%		2021年度は感染症防止の観点により、外部折衝を行っておりません。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%		2021年度は感染症防止の観点により、外部折衝を行っておりません。
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		保護者との連携をとっています。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	0%	100%		今後ペアトレ等の支援を行える様尽力を参ります。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		初回面談・契約時に説明を行っています。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		随時行っております。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		2021年度は感染症防止の観点により、保護者会を行っておりません。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		苦情の受付窓口を周知させて頂いています。苦情があった際は迅速に対応しております。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%		月1回の連絡を発行・配布させて頂いています。
	35 個人情報に十分注意している	100%	0%		個人情報の同意書を取り、同意書通りに遵守しています。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		視覚か聴覚またはその両方を用いて、コミュニケーションに配慮をしています。
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	100%	0%		2021年度は感染症防止の観点により、オンラインにて地域ボランティアの方との外部折衝を行っております。	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		職員への周知は行っている。保護者へも各マニュアルの周知を行っています。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		毎月1回避難訓練を行っております。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		虐待の研修があれば積極的に出席してまいります。また内部研修も行います。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		やむを得ず身体拘束をする場合に限っては、初回面談時に説明と同意を得たうえで、個別支援計画に記載しています。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	100%	0%		保護者を通して行っています。
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		ヒヤリハット事例集を事業所内で周知・共有しています。	